

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人 ウイズアイ

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

子育てピギナー夫婦のためのこころの栄養補給講座—子育てによりよいパートナーシップを学ぶ

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

子育て経験が乏しく、夫婦関係で何らかの葛藤を抱いている人々が、安心して子育てに取り組めるように、社会の子育て支援の方法として「夫婦関係と子育てについて役立つ知識を提供する講演会」と「より健康的な子育てと夫婦関係について体験的に学べるプログラム」を提供し、子育てに重要な知識やスキルや助け合いの子育てを学び合います。その結果、参加者は夫婦で安心して子育てをすることを学び、夫婦関係が良好に維持され、子どもの養育環境も向上します。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

① 「夫婦関係と子育てについて役立つ知識を提供する講演会」

一般の子育てピギナーの夫婦に向けた子育てや夫婦関係についての知識普及を目的としたものを企画

講師:ファザーリングジャパン安藤哲也氏 「パバカUP!～家族の笑顔は笑顔のパパから～」

講師:“人間と性”教育研究協議会幹事 藤見里沙氏 夫婦のよりよいコミュニケーション～性のおはなし～

② 「より健康的な子育てと夫婦関係について体験的に学べるプログラム」

プログラム参加者は子育てに必要な知識やスキル、健全な夫婦関係についてお互いに助け合う子育てを学び合う。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

育児体験の乏しい初めての子どもを持つ夫婦で、自分たちの子育てや夫婦関係をよりよいものにしたいという問題意識のある人たちを対象としました。安心して初めて子どもを預ける体験の中で(保育つき)、夫婦で同じワークを行い、それぞれが体験したことから子育てや夫婦関係の自慢できる点、改善したい点などを明らかにできました。こうした気づきは個人の体験だけに終わらず、夫婦で共有し、グループで共有することでさらに深めることができ、参加後、夫婦での会話がさらに増えたり、子育てに自信がもてるようになったり、参加者同士の交流も認められました。

評価の結果、夫婦関係のさらなる改善、育児不安や育児の負担感の軽減が見られた参加者もいました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

本プロジェクトは、講演活動によって広く夫婦関係と子育てについての知識などを普及しました。また夫婦関係や子育てになんらかの困難や問題意識を抱える人たちには、よりよい子育てと夫婦関係について学べるプログラムを提供できました。こうした夫婦で参加できる心理教育プログラムは極めて先駆的な取り組みで、夫婦関係のさらなる改善といった効果も認められました。こうしたプロジェクトは、今後、ますます取り組まれるべきだという感想を得ました。課題点は、「夫婦での参加」です。参加したくても参加できない夫もいることが予想され、夫も参加しやすい子育ての社会作りと同時に、プログラムをより参加しやすい形にする必要があります。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

ファザーリングジャパン 安藤哲也氏の講演会



藤見里沙氏 「性教育」講演会



「より健康的な子育てと夫婦関係について体験的に学べるプログラム」

